

認知症への不安はありませんか？

認知症とは、さまざまな原因で脳の働きが悪くなり、記憶力や判断力等が低下し、日常生活にまで支障が出る状態で、通常の老化による衰えとは違います。

例えば、朝ごはんは何を食べたか思い出せないといった体験の一部を忘れるのは、老化による物忘れと言えますが、朝ごはんを食べたこと自体を忘れてしまう場合は認知症が疑われます。

これって認知症？
「認知症簡易チェック」を
ご利用ください。

- 物のしまい場所を忘れる
 - 同じ話を繰り返し返す
 - 知っている人の名前が思い出せない
- こんなことで悩むことはありませんか？
- 町では、認知症簡易チェックサイトで、次の2つのチェックができます。
- ①家族や身近な人のチェック「これって認知症？」
 - ②自分の状態のチェック「私って認知症？」

チェックした結果とともに、相談先も掲載しています。



認知症簡易
チェックサイトは
こちら↑

「認知症簡易チェックサイトのご利用にあたって」

簡易なチェックであり、認知症の診断ではありません。結果にかかわらず、ご心配のある方は、早めに専門機関へご相談ください。

「どこシル伝言板」とは？

認知症等で行方不明になる可能性のある認知症高齢者等を早期に発見・保護する取り組み「どこシル伝言板」を行っています。

認知症等で行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ瞬時に発見通知メールが届きます。発見者はQRコードを読み取ると、ニックネームや注意すべきことなど対処方法が分かるので安心です。

利用を希望される場合は、申請・登録が必要です。福祉課介護班または、地域包括支援センターへご相談ください。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように地域全体で見守り支えていきますしよう。

福祉課介護班

☎(84)1257

地域包括支援センター

☎(80)3339



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。